

徳島県立病院医療安全対策委員会

●開催日時： 令和7年11月27日（木）午後6時00分から午後7時50分まで

●場 所： 中央病院 3階 講堂

●出席者

（委員）

会 長	徳島県医師会常任理事	加 藤 真 介
副会長	徳島大学病院安全管理部長（特任教授）	池 本 哲 也
	徳島県薬剤師会 専務理事	小 延 洋 輔
	徳島県看護協会 第一副会長	鈴 記 洋 子
	弁護士	田 中 浩 三
	徳島赤十字病院臨床工学技士	柰 保 愛
	徳島大学大学院 医歯薬学研究部教授	安 原 由 子

（病院局）

所 属	職 名	氏 名
病院局	病院事業管理者	北 畑 洋
	局長	蛭 原 淑 文
	副局長	岡 本 光 弘
病院局総務課	課長	春 木 達 也
	副課長	宮 本 英 明
	係長（政策調整担当）	棚 野 哲 明
中央病院	病院長	葉 久 貴 司
	病院長補佐（医療安全センター長）	中 本 次 郎
	事務局長	廣 瀬 和 久
	事務局次長（医療安全センター副センター長）	松 島 奨
	看護局次長（医療安全センター副センター長）	辻 利 恵
	薬剤局事務次長（医療安全センター副センター長）	野 田 理 絵
三好病院	病院長	藤 永 裕 之
	事務局長	井 上 晋 一 郎
	看護局長補佐（医療安全センター副センター長）	小 崎 直 美
海部病院	病院長	影 治 照 喜
	事務局長	住 田 優 二
	看護局次長（医療安全センター副センター長）	濱 川 み さ こ

●会議の概要

1. 開会

2. 北畑病院事業管理者あいさつ

3. 議事

(1) 県立病院における医療安全対策の取組みについて

医療安全対策の取組について各病院から説明があり、その後質疑・意見交換を行った。

【質疑】

- ・各病院の病床稼働率および平均在院日数の状況について
- ・転倒・転落が発生しやすい時期の分析状況について
- ・薬剤の疑義照会のシステム上の扱いとインシデント集計への含み方について
- ・持参薬のシステム入力および服用状況の確認方法について
- ・レベル 3b 以上の医療事故発生時における報告・周知の体制について

【意見】

- ・転倒・転落について、入院後の日数や治療イベント等、発生時期の詳細な分析と対策を
- ・薬剤関連のインシデント対策として、医療安全管理への薬剤部のより積極的な関与を

(2) 令和 6 年度県立病院における医療事故の包括的公表について

①インシデント・アクシデントの件数について、②アクシデントの概要及び再発防止策について包括的公表案について事務局等から説明があり、その後質疑・意見交換を行った。

【質疑】

- ・流量設定間違い事例の背景（経験年数・機器の統一）、禁忌薬投与防止策の実効性、製品変更時の周知プロセスについて
- ・複数指示の見間違いによる投与ミス、麻薬取り扱い時の業務並行禁止の徹底状況について
- ・ドレーン抜去時の先端確認およびマニュアルへの記載について

【意見】

- ・禁忌薬の確認や麻薬の取り扱いにおいて、より実効性の高い対策とルールの徹底
- ・ドレーン抜去後の先端確認をマニュアルに明記すべき
- ・医師と看護師の間で、職種の壁を超えたチームとしてのコミュニケーションを今以上に強化

(3) 県立病院医療事故等公表基準の見直しについて

【質疑】

- ・レベル分類の変更（6段階から8段階）による過去データとの連続性および移行期間の対応について

【意見】

- ・見直しにあたり、各病院で評価にばらつきが出ないように、統一した基準で評価できる体制を

4. 北畑病院事業管理者 閉会あいさつ

5. 閉会